

みえの安全・安心農業推進研修会

私は、丹精込めて
つくっています。
食べてみてください。

野菜や果物の作っている人って
どんな人なの？
どうやってつくっているの？

環境への負荷の軽減、安全・安心な農産物の生産は、農業者を始め、消費者や流通事業者においても関心が非常に高まっています。

今回の研修会では、3つのお話を参考に、有機農業や環境保全型農業に取り組む生産者の想いを消費者の皆さんや流通事業者の皆さんにどう伝えたら良いかを考えたいと思います。

1 想いをつなぐ

有機農業に取り組む生産者の思いを消費者につなぐ場を提供する。

講師 : オアシス21

オーガニックファーマーズ朝市村 村長
よしの たかこ氏



2 想いを語る（県内の事例紹介）

(1) 若手有機農業実践者 西川 利道氏
就農2年目ですが、がんばっています。



(2) JA一志東部 営農指導課 甚野 充範氏
「環境にやさしい」イチジク栽培をしています。



日時 : 平成28年2月3日(水)
13:30~16:30(受付13:00~)

場所 : 三重県農業大学校 2階 大教室
松阪市嬉野川北町530

(アクセス)

近鉄 名古屋線・大阪線「伊勢中川駅」下車 徒歩約20分
自動車 国道23号線「小舟江北」交差点を津方面からは右折、伊勢方面からは左折し、直進約5分左側。

講師紹介（講演順）

よしの たかこ氏（オアシス21オーガニックファーマーズ朝市村 村長）

三菱商事株式会社、NPO法人中部リサイクル運動市民の会（にんじんCLUB）スタッフ、日本有機農業学会事務局などを経て、NPO法人全国有機農業推進協議会理事、あいち有機農業推進ネットワーク役員、東海農政局有機農業推進委員会委員として活躍されています。

西川 利道氏（六月農園（ろくつきのうえん）園主）

多気郡明和町在住。就農2年目、ブラジル生まれの兵庫県尼崎市出身。大学卒業後、大阪、東京で16年間大日本印刷で企画職に従事され、阪神・淡路、東日本の2つの大震災の経験を機に、親の実家がある三重で自然と全面に向き合う農業の道へ飛び込まれ、三重農大で1年、師匠の野呂元士氏のもと1年研修後、都会と地域を結ぶ農業をめざし、現在、農薬・化学肥料を使わず約70種類の野菜を有機栽培されています。

甚野 充範氏（JA一志東部 営農指導課）

JA一志東部いちじく部会は松阪市にある県内一のいちじく産地です。生産者全員がエファーマーの認定を受け、産地全体で環境保全に取り組んでいます。

さらに、地域活性化プランにおいて消費者宣伝イベントをはじめとした積極的な産地維持活動も行っています。

申込期限 平成28年2月1日（月）

申込方法： F A Xの場合は、下記の記入欄にご記入のうえ F A Xして下さい。
E-mailの場合は、件名を「みえの安全安心研修会参加申込」とし、下記申込書の内容を本文に明記のうえ、送信してください。

申込先： 三重県農林水産部農産物安全課

問合わせ FAX番号 059-223-1120

E-mail noan@pref.mie.jp

電話番号 059-224-2543

その他：参加は、「環境負荷低減する農業」や「有機農業」などにご興味のある方などどなたでも結構です。

ただし、定員になり次第締め切りさせていただく場合があります。

参加者氏名	
電話番号	
FAX番号	
E-mail	
所属団体等	